

ほどがやニュース 50号



発行:認定NPO法人 WE21ジャパン・ほどがや

〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町2-2-A103 Tel/Fax334-5140

ホームページ <http://www.we21japan.org>

発行責任者 渡邊廣子

WE21ジャパン・ほどがや、WE21ジャパン・旭が共同で企画した「福島いわきツアー」。被災地の現状視察と、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの見学をしました。横浜南エリア8地域NPOから46名が参加しました。(2014年11月26日)

バスで巡った雨の被災地

前日より続く氷雨に綿摘みボランティアは断念。摘んだ綿のごみを除く、がくからガラをとるなどの作業をし、綿の感触にプロジェクトに関わる大勢の人々の温かさを感じました。語り部として甘南備かほるさん(NPO ザ・ピープル事務局長)同乗で、小名浜を出発。バスの中より豊間地区→四ツ倉→双葉町→広野町(コットン畑)→檜葉町→第2原子力発電所→富岡町(無人の町を歩く)→スカイストアで買い物→横浜というコースでした。

14:26で止まった時計が...

富岡町では、駅周辺は手付かずの様子で、車が家に突っ込んだままの状態、家の中には今まだ残された家族写真。悲しみと怒りがこみ上げました。

3.11を、この街の人々を、わたしたちは絶対忘れない...そう約束して帰途に着きました。

(代表 渡邊廣子)



富岡駅

※写真は全てツアー参加者が撮影したもの。
町の傷は深く、重い。

特集: 3.11 を忘れない

東日本大地震被災と、原発事故被害から4年「復興」とは何を指すか?



半分えぐれた建物

一 参加者アンケートより (抜粋) 一

富岡の光景にはとても心が痛みました。何十年と続くのでしょうか。絶対忘れてはいけない事です。

あの日のあの時間のまま止まった時計。民家はあるのに人気はない。写真を撮る気になれませんでした。

まだまだ復興は進んでいないけど、そこに住み、生活を向上させようと頑張っている人たちがいる。

コットン栽培のプロジェクトでは、皆さんの情熱に感動しました。豊かに実ったコットンの摘み取りにも参加してみたいと思います。

手付かずの富岡駅周辺。

破壊された家屋、ひっくり返った自動車もそのまま。三年半経つのに。国が復興の方向を誤らないように、国民としてしっかり声を上げなければと思います。

太平洋沿い南北 60kmの美しい景観に防潮堤の建設は必要か?

震災から月日が経ち、変わりゆく被災地の様子や人々の気持ちを知る機会になりました。



除染作業後の山積みの除去土壌等



かんなび
甘南備さん(中央)と、お人形に使える綿花のがくを選んでいる参加者。

綿花のお人形は、仮設住宅にお住まいのお母さんや福祉施設の方々が一つずつ手仕事で作っています。



◆WE21ジャパン・ほどがやは「福島ぽかぽかプロジェクト」を応援しています！

◇国際環境 NGO FoE Japan のプロジェクト報告会開催（2015年1月10日）

放射線量の高い地域の子どもたちや妊婦さんとその家族に、週末、線量の低い場所でのびのびと過ごしてもらおう保養プロジェクトで、2012年1月～2013年3月まで延べ3000人の親子が参加しました。2013年春からは猪苗代のシェアハウスを利用した共同自炊型のプログラムを行っています。

長引く放射能汚染。子どもたちの甲状腺がんなどの健康不安はもとより、様々な事情で避難したくてもできないお母さんお父さんたちのストレスや運動不足による体力低下は深刻とのこと。また、放射能に関しては、それぞれの意識や受け止め方の違いから日常的に話題にし難い状況もあり、それが地域コミュニティの分断をも招いているとのことでした。

このプログラムへの参加で、子どもたちは異年齢集団での遊びや炊事等の体験で成長し、親たちはいろいろな不安や疑問を気軽に言い合うことで心身ともにリフレッシュし、笑顔を取り戻して帰って行くそうです。ロコミでも参加者が増え、リピーターは6割を超えて、親同士のつながりも徐々に出来はじめています。

福島で暮らす人々の願いは、自分たちが「忘れられていない」こと。未だに除染作業の脇を通学している子どもたちの現状を想うと、こういった被災地の現状を知り伝えていくことが大事だと痛感しました。

大きなマスメディアからこぼれ落ちる、けれど、見逃してはいけない状況があり、まだまだ癒えない人々も多くいます。

私たちは被災者の不安な気持ちに寄り添いつつ、出来る支援活動を続けていきます。

ひき続きショップを通しての温かいご支援をよろしくお願いします。

（理事 黒木宏子）

3月11日(水)

福島へ、とどけ 復興支援セールで、



ぽかぽかに！

参加者の声
(報告書より抜粋)



きちんとした名目のある保養が、どれだけ大切か、体と心を通して体験しました。プログラムを用意してくれる人々がいることで、私たちは忘れられていないんだ、と実感でき、また明日からも頑張れる力になっています。

震災後、今までの生活が失われました。自然を楽しみ、地元の新鮮な野菜を食べて生活していた頃とは全く違った日々です。外で遊んでいる子どもたちを見るのは、本当に嬉しいです。



WE21ジャパン・ほどがやは、「福島ぽかぽかプロジェクト」を応援し、

星川店、天王町店の3月11日の売上を、**全額**寄付しています。

その他、毎月11日の売上から30%の寄付、店頭募金もしています。

福島に暮らすお母さんお父さんの不安に寄り添い、子どもたちの健康と一緒に考えていくパートナーになっていただけませんか。



※**3月11日**は水曜日で、天王町店は定休曜日ですが、**復興支援セールのためオープン**します。

14日土曜日は15周年をお祝いする会開催のため、**お休み**です。お気を付けください。

特定非営利活動法人 WE21ジャパン・ほどがや は、認定 NPO 法人です

WE ショップ星川店 Tel/Fax:045-334-5140 10:30~17:30 休業日: 土曜・日曜・祝日
WE ショップ天王町店 Tel/Fax:045-333-6336 10:30~17:30 休業日: 水曜・日曜・祝日